

## 増え続けるデータを 最適コストで管理する運用術とは

貴社に於かれまして、増えすぎたデータにお困りになったことはないでしょうか。

今回は、日々増え続けるデータを効率的に保存し、且つ、いかにしてコスト削減を実現するかを考えてみます。

ファイルサーバを運用する上で生じる代表的な課題は、

- 1) 慢性的な容量不足
- 2) 大量のコピーファイルの存在
- 3) 目的のファイルを探す時間と手間

とされています。

特に、ファイルを探す時間は1日平均1.8時間という調査結果（IDC 調べ）にもある通り、業務生産性に多大な影響を及ぼしています。

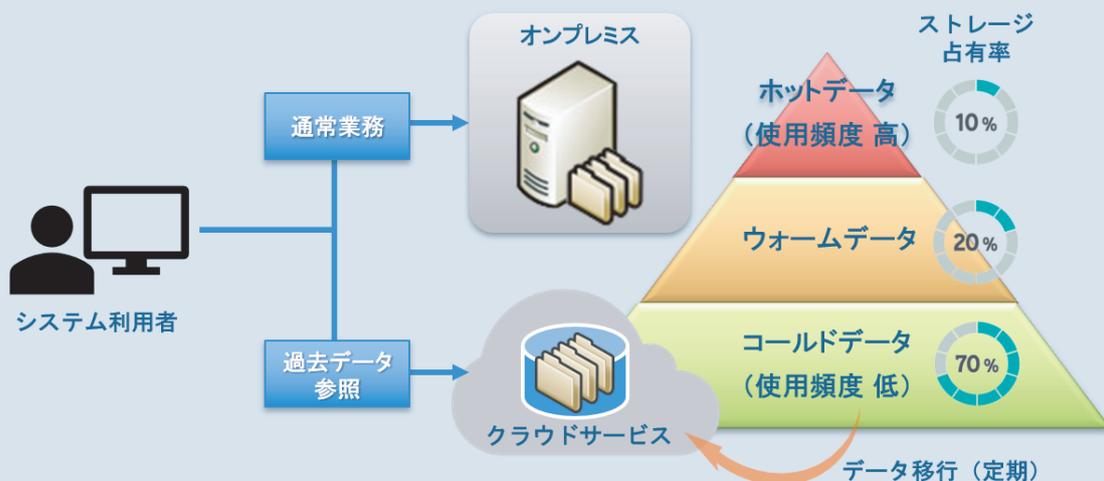
更に、コピーファイルの散在がディスク容量を無駄に消費しているとともに、ファイルの探索に一層の時間を要するなど、負のスパイラルによるコストの増大を招いています。

サーバの容量不足を補うには「長期間アクセスがない古いファイルを移行・削除」「コピーファイルの移行・削除」が有効です。

また、使用頻度に応じてサーバを使い分けることも有効な手段です。

使用頻度の高いデータは高速なファイルサーバに、逆に使用頻度が低いデータはクラウドサービスなどの安価なサービスを利用しITコストの削減を実現するとともに、利便性も確保することができます。

### オンプレとクラウド利用の適材適所



まずは、肥大化し続けるファイルサーバの現状把握のために、アセスメントの実施をお勧めします。

弊社では、分析ツールによりファイルサーバの使用状況を可視化し、使用頻度の高いデータ・低いデータを整理することで、最適コストでのファイルサーバ運用方法のご提案を実施しております。

また、弊社クラウドサービスにおいては、既に多くのお客様にファイルサーバ、又はオンプレミスのファイルバックアップ環境としてご利用頂いている実績がございます。

日々増え続けるデータの管理にお困りごとがございましたら、以下のWEBサイトよりお問合せください。アセスメントサービス専任部門担当者よりご説明させていただきます。

サイト内には弊社クラウドサービス「BizGr@nd」のご紹介ページもございますので、併せてご覧いただけますと幸いです。

<https://www.dsk-idc.jp>

**BizGr@nd**  
ビズグラント

パフォーマンス確保型クラウドサーバー

**BizTr@nk**  
ビズトランク

クラウド型ファイル転送サービス